2021.5.25.

プリにおける発展と教育のためのキリスト教機関（CODE）

祈りのリクエスト

日本バプテスト女性連合の親愛なる姉妹の皆さん

わたしたちの救い主イエス・キリストの御名により御挨拶致します。
新型コロナウィルス感染拡大により世界が苦難の時を過ごしています。わたしたちは皆さんの上に神さまよりの守りがあり健康が支えられ、祝福があるようにと祈りを続け、神さまがすべての必要を満たし、祈りに応えてくださることを信じています。わたしたちのために更に具体的に祈っていただけるように以下に祈りのリクエストを記します。皆さんの祈りの時にどうぞ、これらのことをおぼえてお祈りください。

1. 今日、この時に深刻な被害をもたらすサイクロンがわたしたちの州を通過し始めています。26日午後にはプリから北に200kmほどの所にあるバーレーシュワルに上陸するだろうと予測が出されています。現在プリでは雨が降っており、時速40kmほどの風が吹いています。このような天気が24日の晩から続いています。天気予報によるとプリに直撃する可能性は低いということですが、豪雨が見込まれ時速60km～ 80kmもの強風が吹くとのことです。
   現在このサイクロンはバーレーシュワルから250kmほど離れたところを通過しており、時速5～6kmの速度で北西方向に進んでいます。このサイクロンは上陸直前に進路を変えることも考えられるためプリと周辺地域も警戒を続けるようにとのことです。このようなサイクロンの季節にわたしたちが最も心配しているのはプリ・キンダーガルテンスクールのホールのアスベスト製の屋根です。2019年プリを直撃したサイクロン「ファニ」等により相当な被害を受けました。日本バプテスト女性連合の皆さんどうぞ、このサイクロンにより、人命や建物にいかなる被害も出ないよう、どうぞお祈りください。この恐ろしいサイクロンシーズンに、わたしたちが守られ、屋根も被害を受けませんように。

2. インドでは現在、新型コロナウィルス感染爆発第二波の時期を過ごしており大変深刻な状況です。政府の発表によると一日あたり約5千人ほどの感染者が死亡しています。わたしたちの学校の生徒たちのほとんどは感染者数の大変多いスラムに住んでいますので、彼らの健康が大変心配です。どうぞ、生徒とその家族、そしてインドや他の国々の上に神さまの御守りが、特にこのパンデミックの時期にあるようにお祈りください。

3. 現在、新型コロナウィルス感染拡大を受け、わたしたちの町はロックダウン状態とな

り1ヶ月が経とうとしています。今は週日に一日数時間、 野菜などの食料品の買い出しのみ許可されていて、週末はすべてが閉じられており、外出が一切許可されていないので誰も外に出ることが出来ません。このため多くの人が職を失い、それら多くの家族は皆、空腹のために苦しんでいます。第一波が起こった時に、わたしたちは、そのような方々、学校の生徒たちとその家族にも支援を数回にわたり行いました。
今回もそれができるようにと出来ることはすべて取り組み、可能な限り募金を集めています。飢えている家族を助けるため、必要な資金が集まるようどうぞ、お祈りください。

４. インド政府による新たな要請により、インド国外から送金を受けている団体は政府の指定するインド・ステイト銀行のニューデリー支店で新たに口座を開設し、その口座を通してのみ国外からの送金が受け取り可能になるということが起こりました。
わたしたちは、今年3月8日に、その銀行口座を開設するための手続きを完了しましたが、開設されたとの正式な通知が長い間届かず、神さまよりの助けを祈り求めていました。そして遂に口座開設の正式な通知が届きました。わたしたちの祈りに応えてくださった神さまに共に感謝の祈りを捧げてください。引き続き、生徒たち、わたしたち職員と家族のため、お祈りをお願いいたします。

ディレクター
S.K.モハンティ